

山内清男コレクション受贈記念

# 山内清男の考古学



入館無料



2021年12月7日(火)~2022年5月29日(日)

開館時間 9:00 ~ 16:30 (会期中一部展示替えを行います。)

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

12月27日(月)~1月3日(月)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム 早稲田大学展示室

共催 本庄早稲田の杜ミュージアム、早稲田大学 會津八一記念博物館

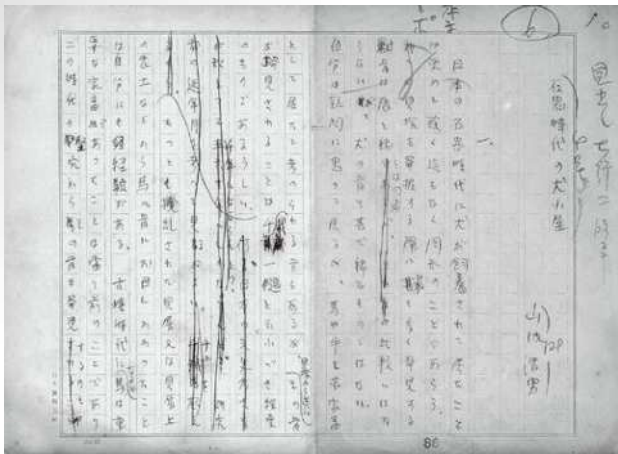
本庄早稲田の杜ミュージアム  
HONTO-WASEDA NO MORI MUSEUM

# 山内清男コレクション受贈記念 山内清男の考古学

山内清男コレクション受贈記念



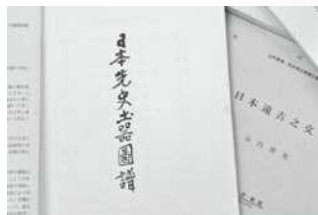
武蔵高校裏遺跡発掘状況



「石器時代の犬小屋」原稿



山内博士の愛用した蔵書



會津八一が揮毫した『日本先史土器図譜』

會津八一記念博物館では2017年度に、「日本先史考古学の父」として知られ、研究業績と教育に圧倒的な評価を持つ山内清男博士(1902-1970)のご遺族から、博士の旧蔵資料を一括してご寄贈いただきました。これを記念し、「山内清男コレクション受贈記念 山内清男の考古学」展を開催する運びとなりました。

山内清男博士は先史考古学の方法論を確立するとともに、縄文時代研究を科学的に体系化し、日本の考古学界に大きな足跡を残しました。また博士は旧制早稲田中学校で学び、在学中には會津八一の薫陶を受け、博士の代表作である『日本先史土器図譜』内表紙の揮毫を會津八一が手掛けるなど、早稲田と深い繋がりがあります。

博士本人が「図版等図示多数。十万枚の写真」と述べる通り、本コレクションの内訳は多数の研究メモ、原稿や草稿類、紙焼き写真などから構成されています。本コレクション資料は、博士の研究の歩みを語る上で重要な資料であり、博士の研究を支えた基本資料でありながら、今まで一般に公開されたことがありませんでした。

本企画展示では、現在までに整理を終えた資料を中心に公開し、博士が考古学と共に歩んだ足跡を、資料に沿って辿ります。

山内清男コレクション受贈記念講演

## 山内清男のサケマス論と縄文社会論 ーカリフォルニア・インディアンとの比較ー

早稲田大学文学学術院 教授 高橋 龍三郎

2022年3月21日(月・祝日) 14:00~

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
3階 レクチャールーム 1

本庄早稲田の杜地域連携展覧会

## 旧石器・縄文時代の見玉・深谷地域

2022年1月4日(火)~3月27日(日)

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
2階 情報資料室

★会期中一部展示替えを行います。



- JR 上越・北陸新幹線「本庄早稲田駅」南口から徒歩3分
- JR 高崎線「本庄駅」南口からほぼシャトル(所要時間13分)バス停「本庄早稲田駅北口」下車、徒歩5分または「本庄駅」南口からタクシー10分
- 関越自動車道「本庄児玉IC」から5分 無料駐車場あり

## 本庄早稲田の杜ミュージアム HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター(早稲田大学93号館)1F

TEL.0495-71-6878

Website <https://www.hwmm.jp/>

E-mail [hwmm@city.honjo.lg.jp](mailto:hwmm@city.honjo.lg.jp)